



日本実験動物技術者協会 東海支部会報

2010 年 1 号 (通算 38 号)

目次

1. 開催のご案内

(1) 基本技術講習会第3回 2

2. 報告事項

(1) 『第36回日本実験動物技術者協会東海支部総会』 2

参加者からの感想文 3

(2) 平成22年度 第1回役員会 5

3. その他

(1) メーリングリスト登録について 6

(2) 年会費について 6

(3) HPのおしらせ 6



1. 開催のご案内

『実験動物と動物実験 基本的動物実験手技(第3回)』

日程：平成22年7月24日(土)～7月25日(日) 2日間
24日(土) 13:00～17:00
25日(日) 9:00～17:00 終日

会場：名古屋近辺で現在調整中

講習内容：

- 1) 実験動物概論 (講義)
 - 2) 動物実験倫理 (講義)
 - 3) マウス・ラットの取り扱い (実技講習)
 - 4) マウス・ラットの保定と個体識別 (実技講習)
 - 5) 麻酔、投与、採血、採尿等の実験手技 (実技講習)
 - 6) マウス・ラットの解剖、臓器摘出方法、安楽死法 (実技講習)
- 他

* 1日目の講義の後、懇親会を予定しています。

第1回、第2回と好評をいただきました「基本的動物実験手技」を今年も開催いたします。

この講習会では、実験動物技術者として欠くことのできない基本的な技術の習得・向上を中心とし、動物実験における技術者の重要性、技術者の心構えなど、日常の業務にすぐに反映できる講習会を目指しております。また、実技研修を通して皆様方の交流の場が提供できればと思っています。

詳細は後日HP等でご案内いたしますのでご参照ください。

多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

2. 報告事項

(1) 第36回日本実験動物技術者協会東海支部総会

日時：平成22年4月17日(土) 13:30～17:00
会場：名古屋大学医学部基礎医学研究棟1F会議室

添付資料の通り承認されました。

研究会 (14:10～17:00)

『動愛法改正後の技術者の役割と実践』

講演 1

「実験動物に対する看護的飼育管理の取り組み

ー実験動物福祉が作り出すちがいはー」

末田 輝子先生 (東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設)

講演 2

「動物実験に関する相互検証プログラム」の実際

喜多 正和先生

(京都府立医科大学大学院医学研究科 実験動物センター)

フリーディスカッション

実験動物の処理に関するトレーサビリティシステム

岩田 和文先生 (株式会社 美濃ラボ)

質疑応答

懇親会 (17:45～)

銀座ライオン鶴舞店 (JR 鶴舞駅ビル) にて

多数の方に参加いただき、交流を深めることができました。

【参加者からの感想文】

総会および研究会に参加された方から、感想をいただきました。

第 36 回日本実験動物技術者協会東海支部総会 研究会 (講演会) 参加に際して

新日本空調株式会社 事業推進統括本部

営業推進センター 坂本 敏央

2010 年 4 月 17 日に開催されました東海支部主催研究会;「動愛法改正後の技術者の役割と実践」へ初参加致しました。弊社業務は実験動物施設の空調環境建設及び維持にあり、今回発表テーマは私の全く知りえない内容でもあり興味深く、そして大変感銘を受ける講演でした。

「実験動物の悲しいサガ、然しながらその動物達の犠牲無くしてはあり得ない医学薬学の進歩、そしてその利益を享受する人間」。この歴然たる事実を忘却する事なく、また犠牲となる動物達への苦痛が少しでも軽減出来たらばと願う愛情に溢れた講演でした。東北大学大学院;末田先生の「看護的飼育管理の取

組み」に対する愛に満ち溢れた講演、京都府立医科大学大学院；喜多先生の「相互検証プログラムの実際」に対する深いご見識指導力に基づいた講演、そして(株)美濃ラボ；岩田常務殿の「動物処理に関するトレーサビリティシステム」に関する強い社会的責任の重要性を説いた講演、以上3講演は何れも私にとって未知なる世界ではありましたが、大変有意義な講演拝聴でありました。そして実験動物が最良の状態で提供され、そしてその実験過程に於いて看護的飼育管理により可能な限り苦痛が軽減でき、期首の実験目標成果が達成出来るならば、と切に思わせられる講演会でもありました。

本日の講演会で初めて動物実験に於ける3Rの原則、そしてプラス3Rの実践（(株)美濃ラボ殿講演より）を知りました。合わせ6Rとなりますが今後も遵守推進されるならば、と感じた次第です。Reduction「使用動物数の削減」、Replacement「代替法の利用」、Refinement「苦痛の軽減」の3Rそして+3R；（Social）Responsibility「社会責任」、Record「事実の記録」、Report「必要に応じて情報開示として報告可能」の6Rです。

この度は大変有意義な研究会へ参加させて戴きまして、誠にありがとうございました。



支部長挨拶



末田先生のご講演

日本実験動物技術者協会東海支部総会に参加して

京都大学 霊長類研究所
須田 直子

今回、東海支部総会に初めて参加させていただきました。大学の技術職員に就いてまだ日も浅く、技術者協会の事業内容などについても初めて知る機会となりました。また、研究会でも貴重なお話をお伺いでき、大学の研究機関や企業で実験動物を扱う個々の技術者が、情報発信・意見交換を気軽にできる有益な場であると感じました。

東北大の末田先生のご講演では、『看護的飼育管理』と題した、動物福祉の考え方と実践的な内容を詳しくお聞きすることができました。私自身も動物福祉への関心が強い飼育者の一人として、大きく相づちを打ちながら納得させられる場面だけでなく、多大な苦勞をも厭わない専門家としての意識の強さに圧倒され口を大きく開けていた場面もありました。実験動物に携わる関係者が福祉

配慮すべきなのは当然ですが、現場で福祉的環境を作り出せるのは、動物に一番近い存在である私たち技術者であるということを再認識させられました。私たち大学技術職員の立場や使命を改めて感じさせられる内容でもありました。

また、京都府立医科大の喜多先生のご講演では、動物実験の相互検証プログラムについて詳しく教えていただき、各施設での自己点検の重要性をご指摘いただきました。動物実験の社会的理解を得るためにも、各機関が自主改善をおこなうことを目的としており、評価を受けることを恐れる必要はないとのことでした。ただ、実際のプログラム実行において各機関が提出する資料の量は信じられないくらい膨大で、それを目の当たりにして気が遠くなってしまいました。しかし動物実験には社会的にも倫理的にも常にリスクが付き纏うことから、事前対策への投資が非常に重要なのだらうと感じさせられました。

株式会社美濃ラボの岩田先生からは、安楽死後の実験動物の処理について、不適正処理を回避するためのシステムをご紹介いただきました。ちょうどこの研究会の数日前に、大量の動物の死骸が不適正に投棄されていたというショッキングな報道があり心を傷めていた矢先でした。とりわけ実験動物においては、不適正処理により環境や生物へ大きな影響を与えることは当然であり、さらには倫理性をも問われる問題です。このシステムを利用しなくても不適正処理を撲滅できるに越したことはないのですが、実験動物取扱関係者が社会的責任を認識するうえでも、今後のご活躍を期待したいと思います。

最後になりましたが、このような有益な機会を設けていただきました協会の委員のみなさまに感謝いたします。ありがとうございました。



喜多先生のご講演



岩田先生のご講演

(2) 平成 22 年度第 1 回東海支部役員会

日 時：平成 22 年 4 月 17 日（土）9：30～12：00

場 所：名古屋大学医学部基礎研究棟会議室

議 題：

- 1，第 36 回支部総会・研究会について
総会・研究会の役割分担
- 2，役員内規
事務局細則の制定

- 3 , 役員の役割分担
- 4 , 基礎的動物実験手技
- 5 , 実技講習会
- 6 , 3 支部合同交流会について



3 . その他

(1) メーリングリスト登録について

東海支部では従来より P D F 会員と称し、ご希望があった会員の皆様のメールアドレスをメーリングリスト (M L) に登録し、会報の発信等を行ってきました。最近では多方面からの情報の配信の必要性もあり、今後は会報のみならずさまざまな情報を発信していく予定です。郵送による情報の提供よりも早く、また M L 会員だけに送られる情報もありますので、ぜひ M L に登録していただきますようご協力をお願いします。なお、お知らせいただきました個人情報 (メールアドレス等) は M L のみに使用し、他には一切使用いたしません。

* M L 登録希望の方は、東海支部事務局まで e-mail にてお申し込み下さい。

事務局 e-mail mailtokai@jaeat-tokai.org

(2) 年会費について

本協会は会員の皆様の会費により運営されています。本年度の会費が未納の方は至急お振込みをお願いいたします。

年会費 : 6,000 円

振込先 名 称 : 日本実験動物技術者協会
口 座 : 00130 -9 -102291
取扱機関 : 落合郵便局

(3) H P について

東海支部では、支部の活動やさまざまな情報をより早くお知らせするため、支部 H P を活用しております。随時更新していきますので、ぜひ皆様もご覧ください。

また、ご意見、ご希望がありましたら東海支部事務局（担当：羽根田）までお知らせください。

HPのURLは、 HP：<http://www.jaeat-tokai.org> です。



Japanese Association for Experimental Animal Technologists TOUKAI branch

2010 年 5 月 No. 38

- < 発行者 > 支部長 小木曾 昇
- < 発行所 > 日本実験動物技術者協会東海支部
- < 編集 > 事務局広報 羽根田 千江美
- < 事務局 > 事務局長 前田 典彦

〒484-8506 愛知県犬山市大字犬山字官林 41 番地
国立大学法人 京都大学霊長類研究所
人類進化モデル研究センター内

TEL 0568-63-0607 FAX 0568-62-9559

e-mail: mailtokai@jaeat-tokai.org

HP: <http://www.jaeat-tokai.org>